

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	立科金属株式会社					
代表者名	氏名	三城 伸五	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県北佐久郡立科町大字芦田3408					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	31 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	内燃機関用ピストン製造（アルミ合金鋳造 加工出荷）					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,833	2,748	2,628	2,999	2,933
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	5,726	5,554	5,324	6,075	5,936
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	4		4	3	3
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	4		1	1	1

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

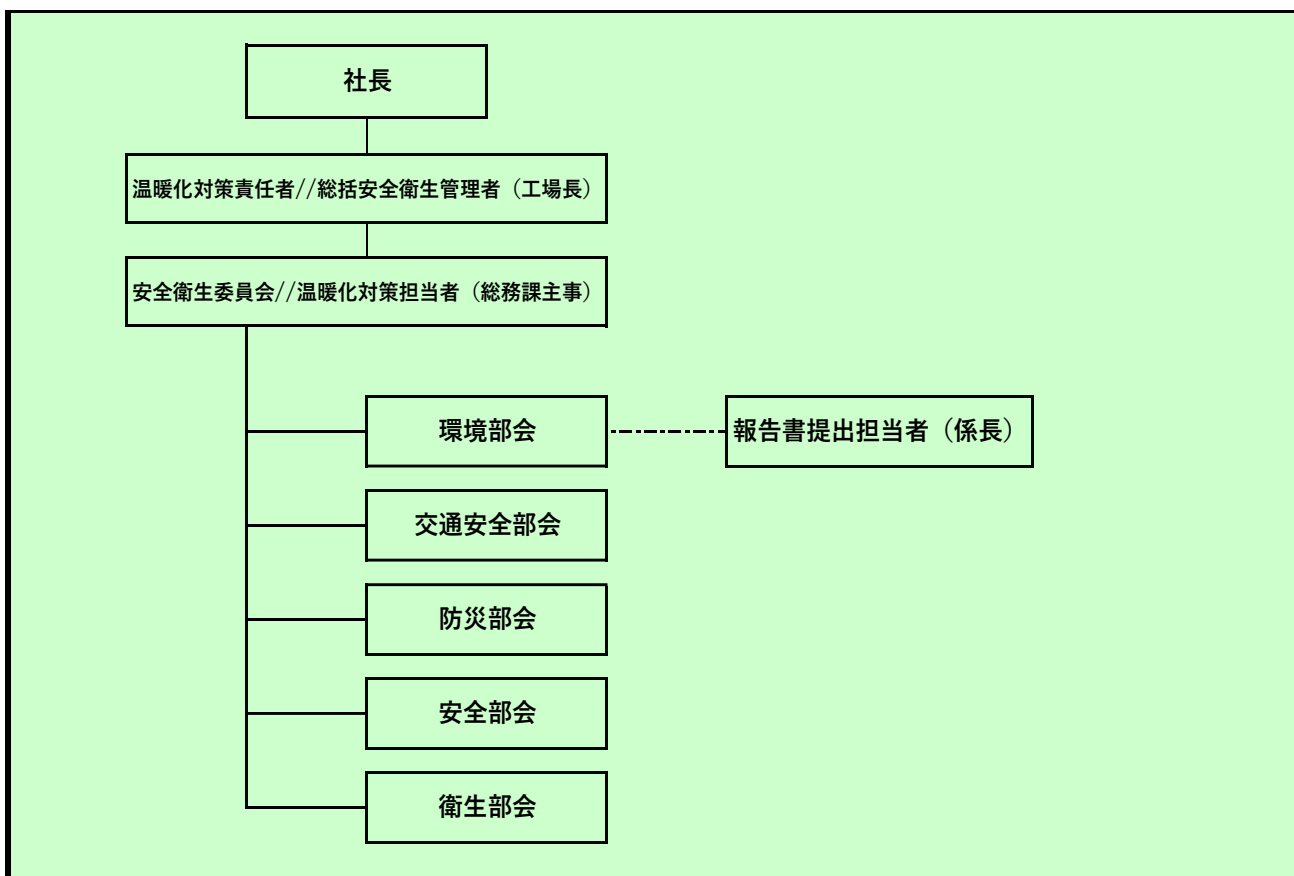
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://tateshinametal.co.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境保全に継続的に取り組み地域社会に貢献できる企業を目指す。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・週1回の管理職会議でエネルギー使用状況報告

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,726	t-CO <sub>2</sub>	生産額	264.50	単位	千万円
2019年度	調整後排出量	5,726	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	21.65	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
目標年度	目標排出量	5,554	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	21.00	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	年1%を削減目標とし、3年間で3%の削減を目指す。						
第一年度	排出量	5,324	t-CO <sub>2</sub>	生産額	234.12	単位	千万円
	削減率	7.02	%	原単位	22.74	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2020年度	調整後排出量	5,324	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-5.04	%	
	削減率	7.02	%				
排出量等の増減理由	・新型コロナウイルス感染症の影響で生産量が減った為、エネルギー使用料が減り、排出量は減った。						
第二年度	排出量	6,075	t-CO <sub>2</sub>	生産額	315.94	単位	千万円
	削減率	-6.10	%	原単位	19.23	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2021年度	調整後排出量	6,075	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	11.17	%	
	削減率	-6.10	%				
排出量等の増減理由	排出量は年1%削減目標の達成できなかったが、原単位は省エネ対策実施効果で目標の達成ができた。						
第三年度	排出量	5,936	t-CO <sub>2</sub>	生産額	339.07	単位	千万円
	削減率	-3.67	t-CO <sub>2</sub>	原単位	17.51	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2022年度	調整後排出量	5,936	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	19.12	%	
	削減率	-3.67	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年度に定めたCO<sub>2</sub>の目標削減率は達成できなかったが、省エネ活動により目標値に近い排出量まで削減ができた。</li> <li>・原単位については目標計画をクリアできた。</li> <li>・生産量が増え基準年度比で排出量が増加してしまった。</li> </ul>						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	1	t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率	75.00	%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	1	t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率	75.00	%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	1	t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率	75.00	%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	360705	圧空漏れ箇所の修理(3年間)	2020～2022	140	2020	140
2	エネ起	380752	L E D導入(3年間)	2020～2022	3	2020	4
3	エネ起	360701	ポンプの運転管理(3年間)	2020～2022	18	2021	16
4	エネ起	その他	フォークリフト電気式	2020～2022	2		
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電	KW	400	0	400	400	400

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	5,726	1	5,324	1	6,075	1	5,936
1,500k1未満								
合計	1	5,726	1	5,324	1	6,075	1	5,936

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
NF <sub>3</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	1	1	1	1
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	0
合計	1	1	1	1
自動車総数	4	4	3	3
次世代車導入割合	25	25	33.3	33.3

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	近くには、電車・路線バス等も無く、通勤等の公共交通機関の利用は現状困難であるが、出張等では駅まで社有車で行き電車等を利用する。
自転車車の利用促進	自転車通勤や徒歩通勤にも手当を出し、駐輪場も整備している。
来客者の交通対策	遠来者には、最寄駅等から地元特有の利便性有る(距離・時間・解り易さ等)来社マップを準備して有り、随時照会している。
物流の合理化	グループ会社間をルート化し、行戻時の空車走行を削減している。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	ごみの排出量の削減		2020年度

1.5 自由記載欄

<p>・ごみの排出量の削減 無駄な水道使用削減のための改善 エアー漏れ点検・修理の実施 エア電磁弁取付</p>
---